



日本学術会議公開シンポジウム 「歯学から発信する再生医療の将来展望」

主 催：日本学術会議歯学委員会 病態系歯学分科会、臨床系歯学分科会、基礎系歯学分科会

共 催：日本口腔科学会

後 援：先端歯学国際教育研究ネットワーク、日本歯学系学会協議会

令和6年(2024年)

東京大学 安田講堂 1 階 大講堂

(東京都文京区本郷 7 - 3 - 1)

7月20日(土)

19:00~20:30

次世代の医療として注目を集めている再生医療の分野において、
歯学が果たしてきた役割を再考すると共に、
再生医療に基づく口腔機能の維持・向上が、
真のWell-beingの創出のために如何に貢献できるのか
について整理し、今後なすべき取組等につき議論する機会としたい。

プログラム

挨拶： 森山 啓司(日本学術会議第二部会員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)

講演

座長： 村上 伸也(日本学術会議第二部会員、大阪大学名誉教授)

後藤 多津子(日本学術会議連携会員、東京歯科大学教授)

『硬組織再生医療がもたらす口腔医療の未来』

星 和人(東京大学大学院医学研究科教授)

『間葉系幹細胞を活用した歯周組織再生医療の現状とその可能性』

竹立 匡秀(大阪大学大学院歯学研究科教授)

『再生医療は歯の寿命を延伸する』

岩田 隆紀(日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)

総合討論

進行： 村上 伸也

後藤 多津子

討論者：星 和人

竹立 匡秀

岩田 隆紀

挨拶： 樋田 京子(日本学術会議第二部会員、北海道大学大学院歯学研究院教授)